



## 楽しく学んだ 武士の暮らし

12月7日(金)、入来町で武家社会をテーマに薩摩川内市文化財少年団の活動が行われ、清色城跡や武家屋敷群を散策。また、地元には伝わる遊びで手を刀に見立てて戦う「手戦(テイッサ)」を入来麓伝建地区保存会の指導のもと体験しました。



## 真心のこもった 冬の便り

12月7日(金)、本市生活研究グループ連絡協議会が、県外の郷土出身者などへ向けて「まごころ宅配便」を発送しました。同協議会の各支部のみそや大根の酢漬け、白だししょうゆなどの農産加工品や、もち米などの詰め合わせ 200 箱を送りました。



## 世代間交流 しめ縄作り

12月11日(火)、鹿島町の老人憩いの家で小学校3～6年生までの児童13人と老人クラブやボランティアの方々が参加し、しめ縄づくりが行われました。初めて体験する子どもたちも、優しく手ほどきを受け、ほのぼのと心温まる交流ができました。

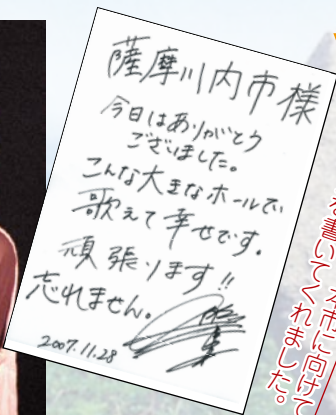


## 生物群集生息の 観察池が完成

12月1日(土)、育英小学校にビオトープ(生物群集の生息空間)が完成。水草やプランクトン、魚などが一つの生態系で食物連鎖を維持する自然環境を学ぶための観察池です。同校PTAの父親らがつくる実行委員会が約3年の構想の末、実現したものです。



**SINGER SONG WRITER**  
くまきあんり  
**熊木杏里さん**



シンガーソングライター  
長野県千曲市出身。1982年生まれ。  
高校時代から作詞活動始める。  
▼熊木杏里オフィシャルサイト  
<http://www.kumakianri.com/>

「シンガーソングライター」  
メッセージを総了後、本市に向けて  
メッセージを書きつけてくれました。

昨年11月に、川内文化ホールでコンサートを開催した熊木杏里さん。開演前の控室で、本市の甕島が彼女にとってゆかりの深い土地であることを話してくれました。

テレビ番組「甕島にかけるDr・コトたち」のエンディングテーマを作成するために、下甕町を自ら訪れ、それをきっかけに、自分の歌への接し方が変わったといいます。「島の人たちは、どんな人にも声を掛けて、「心のドア」を開いてくれる。遠く離れていても、家族でなくても、つながっていて心の支えになる」そう話す彼女。これからも甕島の思い出を胸に、彼女は歌っていきます。

## 甕島に魅せられて